

## I サーバス50周年を祝う国内会議(H.24.3.17~18)

2011年も、もうあと少しだけとなりました。今年は、サーバス50周年ということで、3月17、18日の国内会議には、50周年のお祝いに、わざわざ台湾8名、韓国何名かが駆けつけてきてくれます。賑やかな、それこそ国際色豊かな会議となること間違いなしかと思われます。東海支部会員さんで、支部会議などなかなか参加頂けない方も、この際は是非お祝いに参加して下さい。立派な国際交流ができます。お待ちしております。観光シーズンでなかなか宿がとりにくい京都、もう今から予約できるようになっていますので、早めの申し込みをお願いします。

会議場の アバンティ JR 京都駅八条東口近く

宿泊場所 エルイン京都 京都市南区東九条東山王町13 Tel 075-672-1100

シングル 6800円 ツイン 12000円 この部屋数は少ないようです。

今年の国内会議には、台湾、韓国と国際会議色が強まりましたので、3月17日土曜日開会時間が10時となり（いつもは1時）最初に国際色豊かな親善行事が行われ、それから彼らは、京都見物に出られるように予定が変わってきましたので、本部、近畿支部の方からは、遠方の方は、宿泊2泊をお勧めしますとのこと、すると彼らと一緒に京都見物も楽しめるとのこと。ただし、本部支部役員は、会議ずめで同道することは、できないのですが-----宿の手配は、早めにしておいて下さいとのこと。

## II 11月の諏訪での例会報告

昨年に引き続きK様に大変お世話頂き、雅子様のご実家の小和田様の別荘も近くにあり、近くに温泉もある素晴らしいハーモニーホールでの例会、関東支部のMさん、旧会員のドイツにお住まいのK様、そして会員復帰をしてくださったKYさまの参加を得、13名の賑やかな例会となりました。50周年誌に載せる東海支部の例会風景の撮影ということで、M様のご主人、MAさんに撮影を頂き実のある討論を持つ事が出来ました。旧会員ドイツで観光ガイドをされているK様には、これから旅行をしようとしている会員へのアドバイスも頂きながら、旅一色の会話がはずみました。いつもながら、ご自宅で作られたリンゴジャムみかんジャムなどおいしい食べ物をK様が、提供くださいました。有難うございます。それからご主人が昔住んでいられた満州、ステイをさせていた方宅等中国のあちこちへの旅もたっぷり聞かせて頂きました。なんと毎年行かれてみえるとか-----

北陸東海支部例会報告

記 K

蓼科高原三井の森「ハーモニーの家」

2011年11月12日~13日

11月12日(土) 3:30pm~

- ・ サーバス国内会議(12年3月17日~18日 京都府農業会館)への出欠

・ 50周年祝の支部としてのアトラクション検討

- ① Y支部長のピアノ演奏
- ② メンバー全員でのコーラス
- ③ 移動例会の様子を流す

- ・ 後、茅野市内の六つの温泉施設の一つ尖石温泉「縄文の湯」へ メンバーの車に分乗して行く。夕食はK夫人の手作りの料理（メンバーもサポート）で、舌鼓を打ちながら和やかに歓談

11月13日（日） 9:00～

- ・ サーバス旅行報告 M夫妻 10月に北欧へ  
バリアフリーに感心する。自己挑戦への旅ともなる（他のメンバーも賛同）
- ・ ホームエクステンジ（外国では利用あり）
- ・ カウチサーフィン 簡単に入会利用出来るので会員急増中とか。我がサーバスがどのようにしてメンバーを増やすかが課題
- ・ サーバス国内会議を東海北陸支部で開催→決定（2013年3月）
- ・ JTW 国内会員同士の交流・宿泊——賛否両論あり

例会終了後K夫妻の案内にて「清春芸術村」（山梨県北杜市）へ

集合アトリエ（ラ・リュージュ）の建物、清春白樺美術館では、ジョルジ・ルオーコレクション展示室をはじめ梅原龍三郎、岸田劉生等の作品・書簡などを見、光の美術館クラーベ・ギャラリーではアンと二・クラーベの絵画・彫刻を自然の光りだけで観賞。しっかり歴史、美術の素晴らしさを堪能した後名物の「そば」を食しました。こちらも存分に美味しいそばを堪能（？）して今回の移動例会は解散となりました。

‘86年11月に入会し母の介護で’97年に休会届けを出して長きのご無沙汰となっていました私ですが復帰したいとの申し出をすんなり受け入れて頂き、果てはこの移動例会にまで参加するようご案内して頂きましたこと、本当に嬉しく懐かしく思っています。今後とも元気である限りサーバス会員として活動していきたいと考えております。よろしくご指導下さいませ。

### Ⅲ 次回例会予定

日時 2月5日

場所 名古屋マリオットホテル1階喫茶室「デセナーレ」  
am10～を予定しています。

議題 国内会議に向けて東海支部からの議題、サーバス50周年祝賀会について、他

### Ⅳ 2012年サーバスリスト原稿

訂正のある方いつものように1月末までに申し出てください。H様の訂正は、もう連絡させて頂きました。すみません遅くなりまして。

### V 会員復帰者、

Kさん

## VI 会員活動報告

春日井のOさんはオーストラリアへの語学留学に行ってみえます。

## VII 受け入れ報告 Y

10月22日 韓国Kさん受入れ

東京大学大学院へ留学中とのこと奥様は、日本人で、今は韓国にお住まいで大学で日本語講師をしてみえるとのこと。とてもメカに強く修理をして頂き助かりました。今まで韓国の方、個人的に受け入れた方の印象あまり良くなかったのですが、とても丁寧な対応に頭が下がりました。私たちが、韓国を訪れた時の素晴らしい対応を思い出しました。日本にいる間にまた来てくださいと言って別れました。京都の国内会議でまたお会いすることできるかもわかりません。

7月 オーストラリア人の作家 M W さん受入れ

とても感覚の鋭い方で、さいきん [ The coufort of water ( a river pilgrimage ) ] の作品を脱稿されたばかりですとのこと。その本をサイン入りで頂きました。どこか脱稿後のお疲れか、とても神経質的な方で寝床を2回ほど変えてほしいし申し出られました。伊勢神宮の神秘に深く感動されて2日間どっぴりと神宮に通ってみえました。燈台下暗しどこが良いのかな?と考え込んでしまいました。

## VIII トラベラー報告

Scandinavia servas 旅行報告

2011年 M

① 10月5日～7日 Norway Bergen

Bergen 郊外の島に住んでいて、駅からバスで1時間も掛かるころでしたが、家族はとても家庭的で歓迎してもらいました。高校生の息子と大学生の娘がいましたが、二人とも英語が上手で、会話が弾みました。10月始めというのにここはとても寒くてびっくり。家族は民族衣装などを出して見せてくれ、楽しい祭りの話して、花が咲きました。

② 10月10日～12日 Sweden Stockholm

中央駅から郊外電車の終点まで電車を乗り継いで行きました。駅で迎えに来てくれたホストと会って車で自宅へ、今晚は二人とも用事があるのでいないからと、部屋の説明をして出かけていきましたので、留守番をしながら夜はゆっくりと疲れを取りました。

翌日は2人で市内を巡り夕食にやっと家族揃って食事が出来ました。典型的なスウェーデン料理という物を用意してくれて、美味しく戴きながら説明付きで地ビールをいろいろと試し飲みをしました。福島のことをとても心配しているいろいろ聞かれ、何か出来ることがあったら是非教えて欲しいとも言われました。

③ Sweden Karmal

夕方に駅で待ち合わせて拾ってもらって、車で自宅へ行きました。男の子が二人いて、ご夫婦とも中学校の先生で、とても教育に熱心な家族と見受けられました。お宅はカルマル郊外にあって近くが海なので、みんなで海まで散歩をしました。吐く息も白く、草原は今朝の霜が溶けずに残っていて、ここはもう冬なんだと実感しました。

子供達もみんな英語が上手で、テレビでも英語のプログラムを見ていました。ここでは早くから英語教育が為されているので、子供でも英語が上手でした。

④ 10月15日～17日 Demark Copenhagen

教えられたとおりにホームステイにバスで行こうと駅の廻りを探し回ったがバス停が見つからず、電話をして教えてもらい再度探すがやはり分からない。もう一度電話をして聞いたら、じゃ迎えに行くとのことで、駅まで迎えに来てもらいました。後で聞いたらバス停は駅からだいぶ離れていて、わかりにくいとのことでした。丁度今日はご主人が休みなので、せっかくここまで来たからと帰りがてら市内の観光に連れて行ってくれました。王宮や人魚姫など主だった所を見ました。

その夜は家族がみんなでお外食する事になっているからと、私達はまたまた留守番をしました。ご主人は弁護士ですが作家としても活躍しているようで、今度出版する本についていろいろ内容を話してくれました。2年前に日本に来てサーバス旅行を楽しんだとかで、非常な親日家。いろいろな日本のことに興味を持ち質問攻めでした。

⑤ 10月17日～18日 Demark Arhus ご夫婦で駅まで迎えに来てくれました。ご主人は足が不自由でしたが、見事に両手だけで車を運転していました。家の中は全部バリアフリーになっていて、車椅子での生活が自由に出来るようになっていました。夕食は奥様と二人でデンマーク料理を作りました。教えてもらいながら、野菜を切ったり見たこともないスパイスを使ったりして、美味しく出来ました。この方達のサーバス歴は長く40年近くホストをしているとのことでした。障害にもめげずに自分たちでも時々サーバス旅行をしているとのことでした。